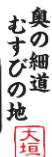


奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和六年四月度 入賞句一覧

投句数 二百九十三句

特選

高木 恵理 選

ランドセルせおって歩くさくら道

大垣市

谷

実咲（小五）

今年が始業式の頃に桜が満開になりました。新しいクラス、新しい仲間との出会い。期待もあれば不安もあつたことでしょう。その肩に背負っているものは、高学年としての自覚でしょうか。作者の心の揺れさえも感じられます。見上げると桜が暖かく包んでくれています。優しい薄紅色の桜が、作者のスタートを応援しているかのようです。

こいのぼりみんななかよくそらをとぶ

大垣市

早野

友萌歌（小四）

こいのぼりには、「人生で遭遇する難関を鯉のように突破して、立身出世してほしい」という願いが込められているそうです。「みんななかよく」という言葉がいいですね。どんなにつらいことに出会っても、このこいのぼりのように仲間がいれば、一緒に乗り越えることができるのでしょうか。夢に向かって、仲間と共に大きく羽ばたいてくださいね。

春休みタンスの中にかくれんぼ

滋賀県大津市

太田

慈（小二）

春休み。暖かい陽気に誘われてお散歩をしたり、遊んだりしたことでしょう。ところが、春は思ったよりも風が強い日があります。作者は、兄弟や親せきの子と家の中で遊んでいたのですね。タンスという言葉の意外性が、読み手を引き付けます。そんなに狭い所にかくれるなんて……。と笑ってしまいましたが、身軽な一年生。タンスに身を隠している可愛らしい姿が浮かんできます。

秀逸

一ねんせいやさしさあればいいおとな

大垣市

坂

侑弥（小四）

はるのかわきいろいとりがとんでゆく

大垣市

片桐

はな（小四）

さくらさきピンクの空を見上げたよ

大垣市

小坂

茅佐（小五）

さくらさき城のおほりをめぐるたび

愛知県安城市

野口

稔真（小五）

春の風幸せのせてやってくる

愛知県碧南市

田中

彩葉（小六）

入選

こいのぼりおやこがやねで遊んでる

大垣市

野々村 心遥（小四）

こいのぼりかぜにあたつてそらおよく

大垣市

すぎの しゅんすけ（小四）

はるの月うみがぴかぴか光ってる

大垣市

市川 奈々愛（小四）

はるのひにそこからこえがきこえるよ

大垣市

大野 琴音（小四）

こいのぼりくもよりたかくそらたかく

大垣市

水谷 奏汰（小四）

はるの川そよそよかぜがよんでいる

大垣市

はやの むう（小四）

こいのぼりじゆうにずっとおよいでる

大垣市

すぎた れんじ（小四）

はるのあさ心をあらうおてんとさん

大垣市

わたなべ あおい（小五）

新学期目標たててさくら見る

大垣市

早野 結菜（小五）

いろいろなはなびらおちるふねゆれて

大垣市

まるやま ふみか（小三）

選者吟

花水木母は大きく手を振って

恵 理

